

Q & Aで注目トピックがわかる!

8つの要点

6月からスタートする、2026年度診療報酬改定。今回改定された内容から、
看護部・看護師の業務にかかわりの深いトピックを8つ選び、
その背景や具体的なポイントを解説します。



【執筆】酒井麻由美 さかい・まゆみ 株式会社リンクアップラボ 代表取締役

急性期病院の医事課(リハビリ部門、入院部門)勤務、医療・介護専門コンサルティング会社の副所長・取締役を経て、2018年株式会社リンクアップラボを設立。医療・介護現場の運営指導といったコンサルティング業のほか、医療系雑誌への執筆等に従事している。公益社団法人日本医療経営コンサルタント協会認定、医療経営コンサルタント(運営)登録。

Contents

I	今回の診療報酬改定がめざしているものは？	P. 44
II	毎日の記録に関係する「重症度、医療・看護必要度」の改定ポイントは？	P. 48
III	チーム医療やタスクシフティングに関する「看護・多職種協働加算」って何？ 現場はどう変わる？	P. 51
IV	「ICT等の活用による看護業務の効率化」って何？ 具体的に何をすればよいの？	P. 54
V	急性期病棟・ICUでは、どのような基準の見直しが行われたの？	P. 58
VI	「診療報酬上求める基準の柔軟化」とはどういうこと？ 具体的には？	P. 63
VII	「入退院支援」についてはどのような見直しが行われたの？	P. 67
VIII	高齢者の生活を支えるケアの推進に、どのように力を入れていくの？	P. 70
COLUMN	ここにも注意！ 病院外で働くナースにかかわる変更点	P. 73